

6

システム構成とパスワードセキュリティ

本章では、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録/削除などについて説明します。

1	システム構成の設定	180
2	パスワードセキュリティ	194



① システム構成の設定

パソコン本体のシステム構成は、セットアッププログラムで設定します。
セットアッププログラムではなく、Windows 上のシステムからも変更することができます。

- ・ Windows 98 / 95 の場合
デバイスマネージャ、Toshiba Hardware Setup、省電力ユーティリティで行うことをおすすめします。
- ・ Windows 2000 の場合
デバイスマネージャ、HW セットアップ、省電力ユーティリティ上で行うことをおすすめします。
- ・ Windows NT の場合
HW セットアップ、省電力ユーティリティで行うことをおすすめします。

セットアッププログラムと Windows 上の設定が異なる場合、Windows 上の設定が優先されます。



メモ

- ・ ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- ・ セットアッププログラムで設定した内容は、内蔵バッテリーで保持するため、電源を切っても消えません。ただし、内蔵バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

① セットアッププログラムを起動する方法



メモ

- ・ スーパーバイザパスワードでユーザパスワードモードを「Unable to run SETUP」(Windows NT / 2000 の場合は「HW セットアップの起動禁止」) に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力した場合には、セットアッププログラムは起動しません。

☞ ユーザパスワードモードについて

☞ 「本章 2-2- ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」

● MS-DOS 上から起動する ()

Windows 98 / 95 のみ使用できます。

Windows NT / 2000 の場合、MS-DOS 上からは起動できません。

- 1 [スタート] - [Windows の終了 (U)] - [MS-DOS モードで再起動する (M)] (Windows 95 の場合は、[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する (M)]) を選択する

[スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト] からは起動できません。

- 2 **C** **D** **Space** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3 **U** **S** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
英語モードに切り替わります。

- 4 **T** **S** **E** **T** **U** **P** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

● **Esc** キーで起動する

- 1 **Esc** キーを押しながら電源を入れる
「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。
- 2 **F1** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

② セットアッププログラムを終了する方法

変更した内容を反映させて終了します。

- 1 **End** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。
- 2 **Y** キーを押す
設定内容が反映され、セットアッププログラムが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

● セットアッププログラムを途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には行います。
この場合は変更した内容はまったく反映されません。設定値は変更前の状態のままです。

- 1 **Esc** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。
- 2 **Y** キーを押す
セットアッププログラムが終了します。

3 セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには次の2つの画面があります。

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

SYSTEM SETUP(1/2)		ACPI BIOS version = * **
MEMORY Total = 65536KB	DISPLAY Power On Display = Auto-Selected LCD Display Stretch = Disabled TV Config.	
PASSWORD Not Registered		
BATTERY Battery Save Mode = Full Power	OTHERS Power-up Mode = Boot CPU Cache = Enabled Level 2 Cache = Enabled Processor Serial Number = Disabled Dynamic CPU Frequency Mode = Dynamically Switchable Auto Power On = Disabled Alarm Volume = High System Beep = Enabled	
PERIPHERAL Pointing Devices = Auto-Selected Ext Keyboard "Fn" = Disabled USB Legacy Emulation = Disabled Parallel Port Mode = ECP Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal)		
BOOT PRIORITY Boot Priority = FDD→HDD→CD-ROM→LAN HDD Priority = Built-in HDD→Second HDD Power On Boot Select = Enabled		
: Select items Space , BkSp : Change values PgDn , PgUp : Change pages Esc : Exit without saving Home : Set default values End : Save changes and Exit		

SYSTEM SETUP(2/2)		ACPI BIOS version = * **
CONFIGURATION Device Config. = All Devices	PC CARD Controller Mode = Auto-Selected	
I/O PORTS Serial = COM1(3F8H/IRQ4) Parallel = LPT1(378H/IRQ7/CH3)	DRIVES I/O Built-in HDD = Primary IDE(1F0H/IRQ14) Int Selectable Bay = Secondary IDE(170H/IRQ15)	
PCI BUS PCI BUS = IRQ11	FLOPPY DISK I/O Floppy Disk = (3F2H/IRQ6/CH2)	
: Select items Space , BkSp : Change values PgDn , PgUp : Change pages Esc : Exit without saving Home : Set default values End : Save changes and Exit		

☞ 設定項目の詳細について ☞ 「本節 4 設定項目」

● 基本操作

基本操作は次のとおりです。

● 変更したい項目の選択方法

セットアッププログラム画面中、反転している部分が現在変更できる項目です。
変更する項目に移動するには、、、、キーを使います。

● 項目の内容の変更方法

またはキーを押す
項目の内容が変わります。

● 画面を切り替える方法

またはキーを押す
次の画面または前の画面に切り替わります。

● 設定内容を標準値にする方法

キーを押す
次にあげる項目以外は、設定内容が標準設定になります。

- ・ PASSWORD
- ・ Hard Disk Mode
- ・ Write Policy

4 設定項目

カーソルが移動しない項目は、参照のみで変更できません。
本項では、標準設定値を「標準値」と記述します。

MEMORY

メモリ容量を表示する

▼ Total

本体に取り付けられているメモリの総容量が表示されます。

PASSWORD

ユーザパスワードの登録 / 削除をする

☞ ユーザパスワードの登録 / 削除の方法 ☞ 「本章 2-1 ユーザパスワード」

▼ Not Registered

ユーザパスワードが設定されていないときに表示されます (標準値)。

▼ Registered

ユーザパスワードが設定されているときに表示されます。

BATTERY

バッテリーで長く使用するための設定をする

▼ Battery Save Mode

バッテリーセーブモードを設定します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。

「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

Full Power (標準値)	Low Power	User Settings (設定例)
Processing Speed = High	Processing Speed = Low	Processing Speed = Low
CPU Sleep Mode = Enabled	CPU Sleep Mode = Enabled	CPU Sleep Mode = Enabled
Display Auto Off = 30Min.	Display Auto Off = 03Min.	Display Auto Off = 03Min.
HDD Auto Off = 30Min.	HDD Auto Off = 03Min.	HDD Auto Off = 03Min.
System Auto Off = Disabled	System Auto Off = 30Min.	System Auto Off = 30Min.
LCD Brightness = Bright *1 Super-Bright *2	LCD Brightness = Semi-Bright *1 Bright *2	LCD Brightness = Semi-Bright
Cooling Method = Performance	Cooling Method = Battery Optimized	Cooling Method = Battery Optimized

(注) System Auto Off (システム自動停止時間) は、「Power-up Mode」が「Boot」のときは表示されません。LCD Brightness (LCD輝度) の表示は次の状態で変わります。

- * 1 バッテリー駆動で使用している場合
- * 2 ACアダプタ使用時

インテル® SpeedStep™ テクノロジー対応モバイル Pentium® III プロセッサモデルの場合は、「Full Power」(標準値) の Cooling Method (CPU 熱制御方式) は「Maximum Performance」と表示されます。

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Processing Speed

処理速度を設定します。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ High 処理速度を高速に設定する
- ・ Low 処理速度を低速に設定する

● CPU Sleep Mode

CPUが処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

- ・ Enabled 電力消費を低減する
- ・ Disabled 電力消費を低減しない



お願い

- ・一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

● Display Auto Off (表示自動停止時間)

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合(マウスやアキュポイントの操作も含む)にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。

画面に表示するには、**[Shift]** キーを押すか、マウスを移動させてください。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。

● HDD Auto Off (HDD 自動停止時間)

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。



メモ

- ・ハードディスク装置を保護するため、「Disabled」は設定できません。

● System Auto Off (システム自動停止時間)

時間を設定すると、設定した時間以上システムを使用しない場合に、システムを止めて節電します。

「Power-up Mode」が「RESUME」の場合に設定できます。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「10Min.」「20Min.」「30Min.」「40Min.」「50Min.」「60Min.」から選択します。

● LCD Brightness (LCD 輝度)

画面の明るさを選択します。

- ・ Semi-Bright 低輝度に設定する
- ・ Bright 高輝度に設定する
- ・ Super-Bright 最高輝度に設定する

● Cooling Method (CPU 熱制御方式)

CPU の熱を冷ます方式を選択します。

- ・ Maximum Performance
..... CPU 温度が上昇したときに、本体内にあるファンを高速回転させて CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Performance CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Battery Optimized CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。



・ CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的にレジューム機能を効かせた状態で電源を切り、パソコンを故障から守ります。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

PERIPHERAL

HDD や外部装置の設定をする

▼ Pointing Devices (ポインティング装置)

アキュポイントを使用するか、外部 PS/2 マウスを使用するかを設定します。

- ・ Auto-Selected (標準値) アキュポイントまたは PS/2 マウスどちらか 1 つを使用する
PS/2 マウスを接続している場合は、PS/2 マウスだけが使用できます。PS/2 マウスを接続していない場合は、アキュポイントが使用できます。
- ・ Simultaneous アキュポイントと PS/2 マウスを同時に使用する

▼ Ext Keyboard "Fn"

外部キーボードの **[Fn]** キーの割り当てをします。

- ・ Disabled (標準値) **[Fn]** キーの代替えキー割り当てをしない
 - ・ Left Ctrl+Left Alt
 - ・ Right Ctrl+Right Alt
 - ・ Left Alt+Left Shift
 - ・ Right Alt+Right shift
 - ・ Left Alt+CapsLock
- これらのキーを **[Fn]** キーの代替えキーとして割り当てる

▼ USB Legacy Emulation

USB キーボード / マウスのエミュレーションを設定します。

- ・ Disabled (標準値) USB キーボード / マウスのレガシーサポートを行わない
- ・ Enabled レガシーサポートを行う
ドライバなしで USB キーボード / マウスが使用可能になります。



メモ

- ・この USB Legacy Emulation は、USB マウス、USB キーボードだけに適用されます。USB マウスと USB キーボードを使用する場合は、コンピュータを起動する前にマウス、キーボードを接続しておく必要があります。

▼ Parallel Port Mode

パラレルポートモードの設定をします。

- ・ ECP (標準値)..... ECP 対応に設定する
大半のプリンタでは、ECP に設定します。
- ・ Std.Bi-Direct. 双方向に設定する
一部のプリンタおよび、プリンタ以外のパラレル装置を使用する場合に設定する

▼ Hard Disk Mode

ハードディスクのモードを設定します。

項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行なってください。

- ・ Enhanced IDE(Normal)(標準値)
..... 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE Enhanced IDE に対応していない OS を使用する場合に選択する
この場合、528MB までが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

BOOT PRIORITY

ブート優先順位を設定する

▼ Boot Priority

システムを起動するディスク装置の順番を設定します。

LAN 内蔵モデルの場合は、次のように表示されます。

- ・ FDD HDD CD-ROM LAN (標準値)
 - ・ HDD FDD CD-ROM LAN
 - ・ FDD CD-ROM LAN HDD
 - ・ HDD CD-ROM LAN FDD
 - ・ CD-ROM LAN FDD HDD
 - ・ CD-ROM LAN HDD FDD
- 指定の装置順に起動する

通常は「FDD HDD CD-ROM LAN」に設定してください。

▼ HDD Priority

システムを起動するハードディスク装置の順番を設定します。

- ・ Built-in HDD Second HDD (標準値)
メインハードディスク装置 セカンドハードディスク装置の順で起動する
- ・ Second HDD Built-in HDD
セカンドハードディスク装置 メインハードディスク装置の順で起動する

▼ Power On Boot Select

電源を入れたときに起動する装置を選択する機能を使用するかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 使用可能にする
- ・ Disabled 禁止する

「Enabled」に設定した場合は電源を入れると「Press [F2] for the boot device selection menu」というメッセージが表示されます。[F2] キーを押して表示されるメニューから起動する装置を選択します。選択するキーは次のようになっています。

- F キー・・・フロッピーディスク装置から起動します。
- B キー・・・パソコン本体のハードディスク装置から起動します。
- C キー・・・CD-ROM 装置から起動します。
- S キー・・・セカンドハードディスク装置から起動します。
- N キー・・・内蔵 LAN から起動します。
- D キー・・・通常の設定された起動装置から起動します。

なお、これらのキーによって設定は変更されません。



メモ

- ・電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違う装置から起動することができます。

DISPLAY

表示装置の設定をする

▼ Power On Display

表示装置を選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値)
..... システム起動時に外部に CRT や液晶ディスプレイを接続しているときは外部の CRT が液晶ディスプレイだけに、接続していないときは本体のディスプレイだけに表示する
- ・ Simultaneous 外部の CRT が液晶ディスプレイと本体のディスプレイに同時表示する



メモ

- ・ SVGA モードに対応していない外部 CRT ディスプレイを接続して、「Simultaneous」を選択した場合、外部 CRT ディスプレイには画面が表示されません。

▼ LCD Display Stretch

内部ディスプレイの表示機能を選択します。

- ・ Enabled 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
表示モードによっては伸張しない場合があります。
- ・ Disabled (標準値) 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

▼ TV Config

テレビ受信機の種類を選択します。

● TV Type

- ・ NTSC(JAPAN)(標準値) ... 日本仕様のテレビ受像機
- ・ NTSC(US) 米国仕様のテレビ受像機
- ・ PAL ヨ - ロッパ仕様のテレビ受像機

● TV Output Signal

- ・ Composite (標準値) ビデオ出力のコンポジット信号を出力する

OTHERS

その他の設定をする

▼ Power-up Mode (レジューム機能)

レジューム機能を設定します。

- ・ Boot (標準値) レジューム機能を無効にする
- ・ Resume レジューム機能を有効にする

▼ CPU Cache (キャッシュ)

CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Disabled キャッシュメモリを使用しない
- ・ Enabled (標準値) キャッシュメモリを使用する

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。

次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

- ・ Write-back (標準値) .. 書き込み方式を「Write-back」に設定する
キャッシュメモリにデータを書き込み、キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。
- ・ Write-through 書き込み方式を「Write-through」に設定する
キャッシュメモリとメインメモリに、同時にデータを書き込みます。

▼ Level 2 Cache

2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。

「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

- ・ Enabled (標準値) 2次キャッシュを使用する
- ・ Disabled 2次キャッシュを使用しない

▼ Processor Serial Number

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Disabled (標準値)..... 無効にする
- ・ Enabled 有効にする



メモ

- ・ スーパーバイザパスワードでユーザパスワードモードを「Unable to show Processor Serial Number Item」(Windows NT / 2000の場合は「プロセッサシリアルナンバ - 項目の非表示」)に設定している場合、パソコンの電源を入れてユーザパスワードを入力したときには表示されません。

▼ Dynamic CPU Frequency Mode

インテル® SpeedStep™ テクノロジー対応モバイル Pentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

- ・ Dynamically Switchable (標準値)..... インテル® SpeedStep™ テクノロジー対応モバイル Pentium® III プロセッサの機能を有効にします。
- ・ Always High インテル® SpeedStep™ テクノロジー対応モバイル Pentium® III プロセッサの機能を無効にし、常時高速で動作します。
- ・ Always Low インテル® SpeedStep™ テクノロジー対応モバイル Pentium® III プロセッサの機能を無効にし、常時低速で動作します。

▼ Auto Power On (タイマ・オン機能)



メモ

- ・ Windows 98 を使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。
- ・ タイマ・オン機能は1回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

タイマ・オン機能またはリングインジケータ機能の設定状態を示します。

- ・ Disabled (標準値)..... タイマ・オン機能、リングインジケータ機能とも設定されていない
- ・ Enabled タイマ・オン機能またはリングインジケータ機能が設定されている

タイマ・オン機能とリングインジケータ機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は **[Space]** または **[BackSpace]** キーで行います。時と分、月と日の切り替えは **[] []** キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled 月日を設定しない

● Ring Indicator

電話回線からの呼び出し信号により、自動的に電源を入れます。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に設定できます。

また、この機能は COMMS コネクタに接続されたモデムまたは PC カードで使用できます。

- ・ Enabled リングインジケータ機能を使用する
- ・ Disabled リングインジケータ機能を使用しない

● Wake up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。

Wake up on LAN 機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

- ・ Enabled Wake up on LAN 機能を使用する
- ・ Disabled Wake up on LAN 機能を使用しない



メモ

- ・ パスワードとレジューム機能が設定してある状態で、タイマ・オン機能 (Auto Power On) を設定してシステムを起動させた場合、インスタントセキュリティ状態で起動します。インスタントセキュリティとは、画面表示をオフにし、キー入力 (アキュポイント、マウスを含む) もできない状態のことです。解除するには、パスワードを入力しキーを押します。
- ・ インスタントセキュリティのパスワードは、起動時に入力したパスワードを使用します。

▼ Alarm Volume

アラームの音量を設定します。

- ・ High (標準値) 大きな音でアラーム音を鳴らす
- ・ Medium High と Low の中間レベルの音でアラーム音を鳴らす
- ・ Low 小さな音でアラーム音を鳴らす
- ・ Off アラーム音を鳴らさない

「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウが開きます。

次に「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Low Battery Alarm

バッテリー消耗時の警告音を設定します。

- ・ Enabled (標準値) 警告音を鳴らす
- ・ Disabled 警告音を鳴らさない

● Panel Close Alarm

ディスプレイが閉じられたことを知らせる警告音を設定します。

- ・ Enabled (標準値) 警告音を鳴らす
- ・ Disabled 警告音を鳴らさない

▼ System Beep

「Low Battery Alarm」「Panel Close Alarm」以外のビーブ音を鳴らすかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値)..... システムビーブ音を鳴らす
- ・ Disabled システムビーブ音を鳴らさない

▼ Panel Power On/Off (パネルスイッチ機能)

ディスプレイの開閉による電源の入/切を設定します。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に表示されます。

- ・ Enabled パネルスイッチ機能を使用する
- ・ Disabled (標準値)..... パネルスイッチ機能を使用しない

CONFIGURATION

▼ Device Config (デバイス・コンフィグ)

ブート時に BIOS が初期化する装置を指定する

- ・ Setup by OS OS をロードするのに必要な装置のみ初期化する
それ以外の装置は OS が初期化します。この場合、「PC カード」内の設定は「Auto-Selected」固定となり、変更できません。
- ・ All Devices (標準値).. すべての装置を初期化する

I/O PORTS (I/O ポート)

▼ Serial

シリアルポートの割り当てを設定します。

- ・ Not Used シリアルポートを割り当てない
 - ・ COM1 (標準値)
 - ・ COM2
 - ・ COM3
 - ・ COM4
- 指定のポートを割り当てる

▼ Parallel

パラレルポートの割り当てを設定します。

「Not Used」以外を選択すると、「OPTION」ウィンドウが開きます。

「OPTION」ウィンドウの項目について次に説明します。

● DMA

DMAチャンネルを設定する

「Parallel Port MODE」が「ECP」の場合に設定できます。

PCI BUS

PCIバスの割り込みレベルを表示する

PCIバスの割り込みレベルを表示します。
変更はできません。

PC CARD

PCカードのモードを選択する

PCカードのモードを選択します。

- ・ Auto-Selected(標準値) ... Windows 98 / 95 / 2000 などの、Plug & Play に対応した OS を使用している場合、選択します。
- ・ Card Bus/16-bit Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、または、Auto-Selected で正常に動作しない Card Bus 対応の PC カードを使用する場合に選択します。
- ・ PCIC Compatible Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、または、Auto-Selected や CardBus/16 bit で正常に動作しない 16 bit PC カードを使用する場合に選択します。



メモ

- ・ Windows NT モデルにインストールされている「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」がサポートしている PC カードを使用する場合は、「Auto-Selected」モードで動作します。

DRIVES I/O

HDD や CD-ROM の設定

ハードディスク装置と CD-ROM 装置のアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。
変更はできません。

FLOPPY DISK I/O

フロッピーディスク装置のアドレス、割り込みレベル、DMA チャンネルの設定を表示します。
変更はできません。

6
章システム構成と
パスワードセキュリティ

② パスワードセキュリティ

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイ（サスペンド）状態やインスタントセキュリティ状態から復帰するときにパスワードの入力を要求するパスワードセキュリティ機能を設定できます。

パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードがあります。

通常はユーザパスワードを登録してください。

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。

この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。

ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードに関して、次の表をご覧ください。

本節では、セットアッププログラムからのユーザパスワードの設定方法、キーフロッピーディスク*1の作成方法、スーパーバイザパスワードプログラムについて説明します。

お使いのシステム	ユーザパスワード		スーパーバイザパスワード
	設定方法	キーフロッピーディスク*1の作成	
Windows 98 / 95	<ul style="list-style-type: none"> ・ Toshiba Hardware Setup ・ セットアッププログラム Toshiba Hardware Setupで設定することをおすすめします。 ☞ 《オンラインマニュアル》	セットアッププログラム	スーパーバイザパスワードプログラム ☞ 「本節 2 スーパーバイザパスワードの登録」
Windows NT / 2000	<ul style="list-style-type: none"> ・ HWセットアップ ・ セットアッププログラム HWセットアップで設定することをおすすめします。 ☞ 《オンラインマニュアル》	セットアッププログラム	スーパーバイザパスワード設定ツール ☞ アプリケーションCD内の ¥Softwares ¥SVPWTool ¥readme.htm

*1 ユーザパスワードを忘れてしまった場合に使用します。



メモ

- ・ パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。
- ・ パスワードを登録 / 削除した後、電源を切る前にリセットスイッチを押すと、設定した内容が無効になります。

● パスワードとして使用できる文字

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

パスワードは「****（アスタリスク）で表示されますので画面で確認できません。よく確認してから入力してください。

使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> ・全角文字（2バイト文字） ・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift]キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、（チルダ）など ・¥（エン）  キーや  キーを押すと¥が入力されます。 	

1 ユーザパスワード

● ユーザパスワードの登録

セットアッププログラムからの方法を説明します。

ユーザパスワードの登録をすると、パスワード解除用フロッピーディスク（キーフロッピーディスク）を作成することができます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DD または2HD（1.44MB）フロッピーディスクが必要です。

1 セットアッププログラムを起動する

☞ 「本章 1-1 セットアッププログラムを起動する方法」

2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、 [Space] または [BackSpace] キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。

パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。

☞ パスワードの削除方法 ☞ 「本節 1- ユーザパスワードの削除」

3 ユーザパスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力します。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

☞ 入力できる文字 ☞ 「本節-パスワードとして使用できる文字」

4 キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

5 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順6と同じパスワードを入力してください。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

6 キーを押す

ユーザパスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順6からやり直してください。

7 パスワードの設定が終了したら、キーを押す

次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)
Insert password service disk if necessary

8 キーフロッピーディスクを作成する

次の「キーフロッピーディスクの作成手順」に従って操作してください。

セットアップの内容が正しければ、キーを押します。キーを押すと、セットアップ画面に戻ります。

● キーフロッピーディスクの作成手順

ユーザパスワードを忘れた場合に使用する、キーフロッピーディスクを作成します。キーフロッピーディスクが必要ない場合は、フロッピーディスクをセットしないで、キーを押してください。そのまま終了します。

☞ キーフロッピーディスクの使い方

⇒ 「本節 1- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

フォーマット済みの2DDまたは2HD (1.44MB) フロッピーディスクをセットする



注意 ・壊されては困るデータの入っているフロッピーディスクは使用しないでください。データが消失します。

キーを押す

次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

セットされているフロッピーディスクが2HDの場合はキーを、2DDの場合はキーを押す

フロッピーディスクへの書き込みを開始します (フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します)。

フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

ユーザパスワードの削除

1 ユーザパスワードの入力画面を表示する

☞ 入力画面の表示方法 ☞ 「本節 1- ユーザパスワードの登録」

2 登録してあるユーザパスワードを入力する

入力すると1文字ごとに*が表示されます。

3 **Enter**キーを押す

ユーザパスワードが削除されます。

入力したユーザパスワードが登録したユーザパスワードと異なる場合は、ピープ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順2からやり直してください。



・入力エラーが3回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合には、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。

また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DDまたは2HD (1.44MB) フロッピーディスクが必要です。



・キーフロッピーディスクは、スタンバイ状態 () サスペンド状態 () ハイパーネーション機能 () 実行時には使用できません。スタンバイ (サスペンド) 機能実行時に、パスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

パスワードの解除を保守サービスに依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要です。

「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットして、**Enter**キーを押す
パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

ユーザパスワードを再設定する場合は、**Y**キーを押す
セットアップ画面が表示されます。「本節 1- ユーザパスワードの登録」の手順5以降を行なってください。再設定後、システムが再起動します。
ユーザパスワードを再設定しない場合は、**N**キーを押す
パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

● ユーザパスワードの変更

ユーザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞ 「本節 1-ユーザパスワードの削除」、「本節 1-ユーザパスワードの登録」

② スーパーバイザパスワード

Windows 98 / 95 をご利用場合の設定方法を説明します。



メモ

・Windows NT / 2000 の場合、スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。

☞ 詳細について ⇨ アプリケーション CD 内の ¥Softwares¥SVPWTool¥readme.htm

・スーパーバイザパスワードのキーフロッピーディスクは作成できません。

● スーパーバイザパスワードの登録



メモ

・スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方が登録されている場合は、セットアップシステム起動時のパスワードはスーパーバイザパスワードを入力してください。

- 1 [スタート]-[Windows の終了(U)]-[MS-DOS モードで再起動する(M)](Windows 95 の場合は、[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト]からも起動できます。

- 2 **C** **D** **S** **p** **a** **c** **e** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3 **S** **V** **P** **W** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
Do you want to register the supervisor password < Y/N > ?
```

- 4 **Y** キーを押す
スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。**N** キーを押すと、プロンプトが「C: ¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password =
```

- 5 スーパーバイザパスワードを入力する
スーパーバイザパスワードは半角 10 文字以内まで入力できます。入力すると、1 文字ごとに * が表示されます。

☞ 入力できる文字 ⇨ 「本節-パスワードとして使用できる文字」

```
Enter Password = * * * * *
```

6 **Enter**キーを押す

パスワードを再度入力する画面が表示されます。

```
Verify Password =
```

7 再度同じパスワードを入力し、**Enter**キーを押す

次の画面が表示されます。スーパーバイザパスワードが登録されました。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

2 回目に入力したパスワードが、1 回目に入力したパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y**キーを押し、手順5からやり直してください。**N**キーを押すと、登録を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

8 ユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更する

続けてユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更できます。ご購入時は「USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP」(ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない)に設定されています。設定を変更する場合は**Y**キーを押します。画面が「ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」の手順4の画面に変わりますので、手順4以降を参照してください。

設定を変更しない場合は**N**キーを押し、電源スイッチを押して電源を切ってください。電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、登録したパスワードは無効となります。

● スーパーバイザパスワードの削除

- 1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)](Windows 95の場合は、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

- 2 **C D Space ¥ T O S S E T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3 **S V P W** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
Do you want to delete the supervisor password < Y/N > ?
```

- 4 **Y** キーを押す
スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。**N** キーを押すと、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password =
```

- 5 登録されているスーパーバイザパスワードを入力する

```
Enter Password = * * * * *
```

- 6 **Enter** キーを押す

入力したパスワードが正しい場合は、次の画面が表示され、登録されていたパスワード削除されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
```

入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y** キーを押し、手順5からやり直してください。**N** キーを押すと、削除を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

入力エラーが3回続くと「Password access denied!」が表示され、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。この場合は、電源スイッチでいったんパソコン本体の電源を切り、再度電源を入れ直してから同じ手順で削除の設定を行なってください。リセットスイッチなどで再起動しても、削除の設定を行うことはできません。

- 7 電源スイッチを押して、電源を切る

電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、パスワードの削除は無効となります。

● スーパーバイザパスワードの変更

スーパーバイザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞「本節 2- スーパーバイザパスワードの削除」、「本節 2- スーパーバイザパスワードの登録」

● ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除

スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合は、ユーザパスワードからパソコン本体を起動したとき、次のような制限事項を設定することができます。

セットアッププログラムへのアクセスを禁止する

セットアッププログラムの「Processor Serial Number」を表示しない

起動時の[F]、[B]、[C]、[S]、[N]キーの機能（Boot Priorityを変更して起動させる）を無効にする

- 1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)](Windows 95の場合は、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

- 2 [S][V][P][W][/] [U] と半角英数字で入力し、[Enter] キーを押す
次の画面が表示されます。

```
USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

- 3 [Y] キーを押す

スーパーバイザパスワード入力する画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD =
```

スーパーバイザパスワードが登録されていない場合は、「Unable to change user password mode because supervisor password is not registered. (スーパーバイザパスワードが登録されていないので、ユーザーパスワードモードの制限事項を設定することはできません)」というメッセージが表示されます。

- 4** スーパーバイザパスワードを入力し、**Enter** キーを押す
現在の設定が表示され、選択項目が表示されます。

USER PASSWORD MODE = Unable to run SETUP

1. Able to run SETUP
 2. Unable to run SETUP
 3. Unable to show Processor Serial Number item.
- Select number < 1/2/3 > ?

1. Able to run SETUP

ユーザーパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできる

2. Unable to run SETUP

ユーザーパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない

3. Unable to show Processor Serial Number item.

ユーザーパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできるが、「OTHERS」の「Processor Serial Number」は表示されない

- 5** 制限事項を選び、**1**、**2**、**3** キーのどれかを押す
選んだキーの制限事項が表示されます。

【例】1 を選んだ場合

USER PASSWORD MODE = Able to run SETUP

- 6** 電源スイッチを押して、電源を切る

電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、制限事項の設定や変更は無効となります。

3 パスワードの入力

パスワードが設定されている場合、電源を入れると次のようになります。

「Password=_」と表示される

画面が消えた状態になる(レジューム機能とタイマ・オン機能が設定されているとき)

この場合は、次のようにするとパソコン本体が起動します。

1 設定したとおりにパスワードを入力し、**Enter**キーを押す

Arrow  LED、Numeric  LEDは、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。ユーザパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

 キーフロッピーディスクの使い方

⇒「本節 1-ユーザパスワードを忘れてしまった場合」



メモ

・パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

● 起動時にユーザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態や、レジューム機能を有効にして電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはユーザパスワードを入力してください。スーパーバイザパスワードでも起動できますが、ユーザパスワードから起動したときに受ける制限事項を設定している場合、同じように機能を制限されます。

● 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態や、レジューム機能を有効にして電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはスーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。

7

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。
本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 206
- 2** 標準システムを復元する 207
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 / 95 モデル)..... 209
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 / 95 モデル)..... 210

① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

システムを復元するときは、「標準システムを復元する」方法で行なうことをおすすめします。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 / 95 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95 モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーションCDをセットし、表示される画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD / アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することは出来ません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）



メモ

・Windows 2000 / NT モデルの場合、ご購入時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、「ディスクの管理」() または、「ディスクアドミニストレータ」() を使用してください。

② 操作手順

● Windows 98 / 95 モデルの場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 3 キーボードの **C** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 **1** キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5 **Y** キーを押す
処理を中止する場合は、**N** キーを押してください。
復元を開始します。
- 6 CD を入れ替えるメッセージが表示された場合、次の CD をセットし、**Enter** キーを押す
処理が続きます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 CDを取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。

8 Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」

● Windows 2000 / NT モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。

3 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の文字が表示されたら、キーを離します。

4 表示される画面の指示に従って操作する

システムの選択画面が表示された場合は、復元するシステムを選択してください。

CDを入れ替えるメッセージが表示された場合は、次のCDをセットし、キーを押してください。処理が続きます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

5 CDを取り出し、キーを押す

システムが再起動します。

6 Windows のセットアップを行う

「2章 2 初めて電源を入れるとき」のWindows 2000 / NTのセットアップの手順4から操作を行なってください。

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されているアプリケーション & ドライバ CD-ROM から、デバイスドライバおよび必要なアプリケーションをインストールしてください。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM
取扱説明書（本書）

また、Windows 95 の場合、セットアップ時に Product ID の入力が必要です。Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されていますので、あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 3 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 **[2]** キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5 **[Y]** キーを押す
処理を中止する場合は、**[N]** キーを押してください。
復元を開始します。
- 6 CD を入れ替えるメッセージが表示された場合、次の CD をセットし、**[Enter]** キーを押す
処理が続きます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。
- 7 CD を取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。
- 8 Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2 章 2 初めて電源を入れるとき」

4 アプリケーションを再インストールする(Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションを指定して再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

ここでは、「東芝ユーティリティ」を再インストール方法を例にして、操作手順を説明します。ほかのアプリケーションを再インストールするときは、手順3、手順4でインストールするアプリケーションをクリックし、画面の指示に従って操作してください。ドライバを再インストールするときは、手順2で[ドライバ]をクリックし、画面の指示に従ってください。

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」をセットする
- 2 [アプリケーション] をクリックする
[アプリケーション] 画面が表示されます。
[アプリケーション] の画面は左右二つに分かれています。
左側にアプリケーションの一覧、右側にアプリケーションの説明が表示されます。
- 3 画面左側のアプリケーションの一覧から [東芝ユーティリティ] をクリックする
- 4 画面右側の [東芝ユーティリティのセットアップ] をクリックする
[ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。
- 5 [このプログラムを上記の場所から実行する] にチェックをつける
- 6 [OK] ボタンをクリックする
[ようこそ] 画面が表示されます。
- 7 [次へ] ボタンをクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
完了すると [セットアップの完了] 画面が表示されます。
- 8 [はい、直ちにコンピュータを再起動します] にチェックをつける
- 9 CD-ROM 装置から「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」を取り出す
フロッピーディスク装置にフロッピーディスクが入っている場合は、取り出してください。
- 10 [終了] ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

8

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときは	212
----------	--------------	-----



1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解消法のヒントをご紹介します。オンラインマニュアルをご覧になれる状態のときは、《オンラインマニュアル 困ったときは》もご覧ください。

1 Q & A を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

● 方法 1 - [スタート]メニューから開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックする
- 2 [設定] にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

● 方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

- 1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

2 Q & A 集

● 電源を入れるとき / 切るとき...

- 電源が入らない / システムが起動しない 214
- 自動的にプログラムが実行される 216
- 電源が切れる 217
- 電源が切れない 217
- 電源が入ってしまう 218

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 219
- 画面が見にくい 220
- 表示自動停止機能が働かない 223
- タスクバーの表示 224
- ファイルが見つからない 224

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 225

● 印刷について	
● 印刷できない	226
● キーボード・マウス・アキュポイントについて	
● 思うように文字が入力できない	228
● マウスが使えない	230
● 周辺機器についてのトラブル	
● フロッピーディスク / フロッピーディスク装置について	232
● CD / CD-ROM 装置について	234
● ハードディスク装置について	235
● PC カードについて	236
● LAN 機能が使えない	238
● USB 機器について	239
● 赤外線通信について	240
● 音量について	
● スピーカから音が聞こえない	242
● おかしな音が聞こえる	244
● 調子がおかしい！	
● テレビ、ラジオに障害が出る	245
● ハイパネーション機能が使えない	245
● パソコンの動作がおかしい	247
● その他調子がおかしい	248
● 不明なメッセージが出た！	
.....	248
● 異常や故障の場合	
.....	251
● 東芝 PC サービス・サポートのご案内	
.....	251

● 電源を入れるとき / 切るとき...

● 電源が入らない / システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源に接続されていない

次の操作を行なってください。

- ・ 本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
- ・ 充電済みのバッテリーパック（メインバッテリーと、取り付ける場合はセカンドバッテリー）を取り付ける



電源スイッチがロックされている

電源スイッチロックを左側にしてロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

（Main Battery  LED およびセカンドバッテリーを取り付けている場合は Second Battery  LED が、オレンジ色に点滅している場合）



バッテリーの充電量が少ない

次の操作を行なってください。

- ・ 本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
- ・ 充電済みのバッテリーパック（メインバッテリーを取り付けている場合はセカンドバッテリー）を取り付ける

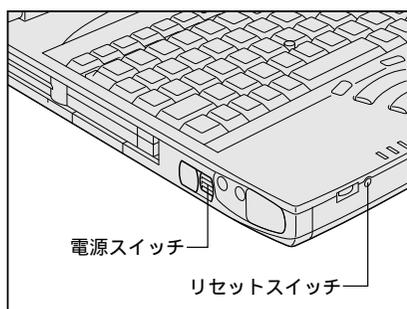
 一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(DC IN  LED がオレンジ色に点滅している場合)

 電源の接触が悪い

次の操作を行なってください。

- ・電源を切り、ACアダプタを抜き差ししてみる
- ・電源を切り、ACアダプタを抜いてからバッテリーパックを抜き差ししてみる
- ・リセットスイッチを10秒以上押す

先の細い、丈夫なもの(例えばクリップを伸ばしたものなど)で押してください。



 電源を入れたが、システムが起動しない

 ハイバネーション機能による起動ができなくなった ( )

ハイバネーション機能によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。この場合、ハイバネーション機能によって保存されたデータは失われます。

電源を切る

BackSpace キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」

何かキーを押す

 システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

 「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる ( )

 前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。

正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

● 自動的にプログラムが実行される



Windows の起動と同時にプログラムが実行される



[スタートアップ] に登録されている

[スタートアップ] に登録されていると、Windows 起動と同時にプログラムが自動的に起動します。

次の手順で設定を変更してください。

98 95

[スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー ...] をクリックする

[[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする

2000

[スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー ...] をクリックする

[詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする

確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする

NT

[スタート] - [設定] - [タスクバー] をクリックする

[[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする

[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。

[スタートアップ] をダブルクリックする

[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。

削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする

確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする

● 電源が切れる

 パソコン使用中に電源が切れる

 危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

 警告音が鳴り、Main Battery LEDが消灯した

 バッテリーの充電量が少なくなった

次の操作を行なってください。

- ・ ACアダプタを接続する
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

● 電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ...」と音が鳴り続ける

 次の操作を行なってください。

- ・ 電源スイッチを5秒以上押す
- ・ リセットスイッチを押す
- ・ ACアダプタ バッテリーパック（メインバッテリーを取り付けている場合はセカンドバッテリー）の順に取りはずし、再度、バッテリーパック ACアダプタの順に取り付ける

 システム自動オフ機能を設定していても、電源が切れない（ 95）

 CD-ROMの自動挿入または自動起動の設定がされている

Windowsのデバイスマネージャで、自動挿入または自動起動の設定を解除してください。



メッセージが表示されて、終了処理が止まってしまう ()

表示されるメッセージは、「コンピュータの電源を完全に切れる状態になりました。再起動するには **Ctrl** + **Alt** + **Del** キーを押してください」です。



次の手順で設定を確認する

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
 - [デバイスマネージャ]タブの[ディスクドライブ]をクリックし、表示された[GENERIC IDE DISK TYPE01]を選ぶ
 - [プロパティ]ボタンをクリックする
 - [設定]タブの[リムーバブル]のチェックをはずす
 - [OK]ボタンをクリックする
 - [閉じる]ボタンをクリックする
 - [システム設定の変更]画面が表示され、再起動するか聞いてきます。
 - [はい]ボタンをクリックする
- パソコンが再起動します。

● 電源が入ってしまう



自動的に電源が入ってしまう



自動的に電源が入るよう Windows やユーティリティで設定されている

Windows のタスクスケジューラが設定されています。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[タスク]をクリックし、設定されているプログラムを削除してください。

[省電力ユーティリティ]で「タイマオン機能」が設定されています。

[コントロールパネル]-[省電力]の[タイマオン機能]タブで設定をオフにしてください。

☞ 省電力ユーティリティ ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」



セットアッププログラムで「Auto Power On 機能」が設定されている

セットアッププログラムを起動し、Auto Power On の設定を変更してください。

☞ セットアッププログラム ☞ 「6 章 1 システム構成の設定」



パネルスイッチ機能が設定されている

ディスプレイを開けると電源が入るように設定されています。

設定を解除してください。

☞ 「2 章 3 電源を切る」

● 表示・画面について

● 画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態 ()、サスペンド状態 () になっている
電源スイッチを押してください。



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ キーや キーを押す
- ・ マウスやアキュポイントを動かす



メモ

・CRTディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがありますが、故障ではありません。



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
 キーまたは キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、 キーを押す
⇨ パスワード ⇨ 「6章 2 パスワードセキュリティ」



メモ

・パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。



表示装置が適切に設定されていない

+ キーを押して表示装置を切り替えてください。

押すごとに次の順で表示が切り替わります。

⇨ 内部 内部 / CRT CRT 内部 / TV TV ⇨

⇨ 表示装置の切り替え ⇨ 「4章 11 テレビへの接続」

「4章 13 CRTディスプレイの接続」

● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



メモ

・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。



画面が暗い



画面の輝度が適切ではない

画面の輝度（98 / NT：8 段階、95：4 段階、2000：3 段階）を変更してください。

方法 1- 省電力ユーティリティで変更する

98 **2000**

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
[電源設定]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする
[省電力]タブで[モニタの輝度]を設定する
[適用]ボタンをクリックする
[OK]ボタンをクリックする

95 **NT**

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
[省電力モード]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする
[ディスプレイ]タブで[輝度設定]を設定する
[適用]ボタンをクリックする
[OK]ボタンをクリックする

方法 2- [Fn] キーを使用する (**98**)

[Fn] + [Esc] キーを押す

設定されている輝度の値が反転表示されます。

[Fn] キーを押したまま [Esc] キーを押し直す

[Esc] キーを押すたびに輝度の値が切り替わります。

[Fn] キーを離す

手順 で表示された輝度に切り替わります。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

- ・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ]で領域サイズを変更してください。



- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブの[画面の領域]で領域サイズを変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの詳細]タブの[デスクトップ領域]で領域サイズを変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの設定]タブの[デスクトップ領域]で領域サイズを変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



画面の大きさに合っていない

表示を拡大してください。



- ・ [Toshiba Hardware Setup]で[LCD Display Stretch]を「Enabled」にする



色が汚い



少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

98

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[色]を[HighColor]や[TrueColor]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

95

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの詳細]タブで[カラーパレット]を[HighColor]や[TrueColor]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

2000

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[画面の色]を[HighColor]や[TrueColor]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

NT

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの設定]タブで[カラーパレット]を[65536色]や[TrueColor]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする



メモ

・解像度によっては[HighColor]や[65536色]、[TrueColor]に設定できません。



画面の領域や色が変更できない



ディスプレイの設定が正しくない

次の手順で設定を確認してください。

98 95

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [デバイスマネージャ]タブで[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
- [OK]または[閉じる]ボタンをクリックする

2000

- [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
- [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
- [OK]ボタンをクリックする

NT

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [ディスプレイの設定]タブで[ディスプレイの種類]ボタンをクリックし、ディスプレイが正しく設定されているか確認する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

表示自動停止機能が働かない



画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない(**98 95**)



MS-DOS プロンプトがアクティブになっている

次の操作を行なってください。

- ・ MS-DOS プロンプトを終了する
- ・ MS-DOS プロンプトを最小化する

● タスクバーの表示

 スタートボタン / タスクバーが表示されない

 タスクバーの高さを低く設定している
次の手順で高さを調節してください。
マウスポインタを画面下に移動する
マウスポインタの形状が上下 (↓) の矢印に変わったら、マウスを上下方向にドラッグする
適度な位置でマウスの左ボタンを離す

 タスクバーを隠すように設定されている
次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。
マウスポインタをタスクバー上に移動し、右クリックする
表示される項目から [プロパティ] をクリックする
[自動的に隠す] のチェック () をはずす
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じる

 使用していたウィンドウが見えなくなった

 他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている
タスクバーに表示されている使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。
他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

● ファイルが見つからない

 ファイルを保存した場所がわからない

 [検索] 機能を使って検索する
次の手順で検索してください。
[スタート]-[検索]-[ファイルやフォルダ] をクリックする
次の欄に探したいファイル名を入力する
 **98**  **95**  **NT** : [名前と場所] タブの [名前] 欄
 **2000** : [ファイルまたはフォルダの名前] 欄
[探す場所] の をクリックし、一覧から探したい場所をクリックし、[検索開始] をクリックする
ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。
目的のファイルを開く

● アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、アプリケーションに付属の説明書、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない

アプリケーションが使えない



正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。



メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ☞ 「4章 8 増設メモリ」



システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞ 『アプリケーションに付属の説明書』



アプリケーションがロックしてしまい、終了できない

 **98**  **95**

- ・ **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押し、**[Alt] + [S]** キーを押す
（レジューム機能は無効になります）

 **2000**  **NT**

- ・ **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押し、タスクマネージャでタスクの終了を行う
- ・ **[Ctrl] + [Alt] + [Del]** キーを押し、**[Alt] + [S]** キーを押してシャットダウンを行う
上記の操作で終了しない場合は、リセットスイッチを押す
（レジューム機能は無効になります）
アプリケーションが強制的に終了するので、現在作業中の内容は失われます。



あらかじめインストールされていたアプリケーションを削除してしまった添付の CD-ROM から再インストールしてください。

98 **95**

「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」を使用して再インストールします。本製品にあらかじめインストールされているアプリケーションやドライバは、削除してしまった場合も、再インストールできます。

☞ 「7章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95 モデル)」

2000 **NT**

「アプリケーション CD」を使用して再インストールします。あらかじめ「アプリケーション CD」に収録されているアプリケーションは何度でも再インストールできます。

● 印刷について

● 印刷できない



印刷ができない



プリンタの電源が入っていない
次の操作を行なってください。

- ・ パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す
- ・ 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない
正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している
次の設定を確認してください。

- ・ プリンタ
 1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
 2. 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
ショートカットメニューが表示されます。
 3. 「通常使うプリンタに設定」にチェック () をつける
- ・ アプリケーションソフト
設定を接続しているプリンタに設定し直してください。

 最後まで正しく印刷できない ECP に対応していないプリンタを使用している
プリンタのモードを双方向に設定します。**98** **95**

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を [Standard Bi-directional] に設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

2000 **NT**

[コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする

[プリンタ] タブで [プリンタポートモード] を [双方向] に設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

 プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。また、Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードでき、ドライバを更新できる場合があります。

 上記のすべてを行っても印刷できない Windows を終了し、パソコンを再起動する 前述のどれを行っても印刷できない プリンタのセルフテストを実行する

● キーボード・マウス・アキュポイントについて

● 思うように文字が入力できない



キーボードのキーを押しても文字が表示されない



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



半角の「~」(チルダ)が入力できない



[Shift] + **[~]** キーを押す



キーボードの印刷通りに「£」、「¢」、「々」などの文字が入力できない



キーボードからは直接入力できない文字を入力している

本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。なお、本製品に標準装備している MS-IME では、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £ ... 「ぼんど」または「たんい」
- ・ ¢ ... 「せんと」または「たんい」
- ・ 々 ... 「おなじ」または「きごう」



キーを押しても希望の文字が入力できない



文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使ってキーボードを希望の状態にしてください。

98 **95**

- ・ **[Shift]** + **[CapsLock 英数]** キー
- ・ **[Fn]** + **[F11]** キー
- ・ **[Fn]** + **[F10]** キー
- ・ **[Ctrl]** + **[カタカナ/ひらがな]** キー

2000 **NT**

- ・ **[Ctrl]** + **[Shift]** + **[カタカナ/ひらがな]** キー
- ・ **[Fn]** + **[F11]** キー
- ・ **[Fn]** + **[F10]** キー

☞ 「1章 6 キーボード」

 キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

 キーボードドライバが正しく設定されていない
次の手順で設定を変更してください。

 **98**  **95**

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
[デバイスマネージャ]タブで[キーボード]を[106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)]に設定する
[OK]または[閉じる]ボタンをクリックする

 **2000**

[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする
[入力ロケール]タブで規定値を日本語に設定する
[適用]ボタンをクリックする
[OK]ボタンをクリックする

 **NT**

[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする
[全般]タブで[キーボードの種類]を[PC/AT106 Japanese(A01) Keyboard]に設定する
[適用]ボタンをクリックする
[OK]ボタンをクリックする

 **Alt** + **半/全** キーを押しても、漢字モードにならない

 日本語入力システムが組み込まれていない
日本語入力システムを組み込んでください。

 キーボードドライバが正しく設定されていない
キーボードドライバの設定を確認してください。
☞「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」

 どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない

 内部処理が正しく行われなかった
次の操作を行なってください。

- ・電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・リセットスイッチを押す

● マウスが使えない



アキュポイントやマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない
(反応しない)



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した
次の操作を行なってください。

- ・ マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
- ・ パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない (  )

次の手順でウィザードを実行してください。

98

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする
[次へ]ボタンをクリックする
画面の指示に従って、操作してください。

95

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェア]をダブルクリックする
[次へ]ボタンをクリックする
画面の指示に従って、操作してください。

2000

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックする
[次へ]ボタンをクリックする
画面の指示に従って、操作してください。



アキュポイントと PS/2 マウスが同時に使用できない



ポインティング装置を同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

ただし、マウスによって同時使用できない場合もあります。

98 95

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Pointing Devices]タブで[Pointing Devices]を[Simultaneous]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル]を開き、[HW セットアップ]をダブルクリックする
[ポインティング装置]タブで[ポインティング装置]を[同時使用]に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



シリアルマウスが使えない



シリアルマウスが認識されていない

次の操作を行なってください。

98 95 2000

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。

接続後、パソコン本体に電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。

シリアルマウスとアキュポイントが同時に使えるようになります。

NT

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。

接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。表示される画面に従ってください。

シリアルマウスとアキュポイントが同時に使えるようになります。

上記の手順で認識されない場合は次の操作を行なってください。

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[デバイス]タブで[デバイスの変更]ボタンをクリックする

[デバイス情報]のメニューからCOMMS コネクタに接続したデバイスを選択する

[適用]ボタンをクリックする

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

● フロッピーディスク/フロッピーディスク装置について



フロッピーディスクに書き込み（保存）できない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。



メモ

・Windows 98 / 95 の場合、フォーマット可能な形式は2DDの場合720KB、2HDの場合1.44MBのみになります。

☞ フォーマット ☞ 「4章 4 フロッピーディスク装置」



書き込み禁止状態になっている

フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。

☞ 書き込み禁止状態、書き込み可能状態 ☞ 「4章 4 フロッピーディスク装置」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

次の操作を行なってください。

- ・ 不要なファイルを削除して、やり直す
- ・ 別のフロッピーディスクを使用する



「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた

新しくフォルダを作って、そこにファイルを作成してください。



ファイルが開けない（読み込みエラーやディスクエラーが表示される）



フロッピーディスク装置が故障している

他のフロッピーディスクで試してみてください。



フロッピーディスクに何らかの問題がある

フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。

98 **95**

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[スキャンディスク]をクリックする

[エラーチェックをするドライブ]欄で「3.5 インチFD (A:)」を選択する

[開始]ボタンをクリックする

スキャンディスクを開始します。

2000 NT

[マイコンピュータ]を開く
 フロッピーディスクアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]をクリックする
 [ツール]タブで[チェック]ボタンをクリックする


フォーマットに時間がかかる

 未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている
 Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。


FDD LED、Selectable Bay  LED が消えない

 データを処理している
 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。LED が消えるまで待ってください。
 どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチを押して再起動してください。
 再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。


フロッピーディスクからシステムが起動しない

 システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
 システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。

 フロッピーディスク装置から起動するように設定されていない
 次の操作を行なってください。

- ・ [F] キーを押したまま、電源スイッチを押す
 一時的に、起動装置がフロッピーディスク装置になります。
- ・ フロッピーディスクから起動するようにユーティリティで設定する

98 95

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする
 [Boot Priority] タブで [Boot Priority Options] を [FDD] が最初になるように設定する
 [適用] ボタンをクリックする
 [OK] ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする
[OSの起動]タブで[OSの起動]を[FDD]が最初になるように設定する
[適用]ボタンをクリックする
[OK]ボタンをクリックする

CD / CD-ROM 装置について



CDにアクセスできない



ディスクトレイがきちんとしまっていない
カチッと音がするまで押し込んでください。
☞ CDのセット ☞ 「4章 5 CD-ROM 装置」



CDがきちんとセットされていない
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。



ディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。



CDが汚れている
汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。



CD-ROM 装置がCDを認識していない
Selectable Bay  LEDが点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、再度アクセスしてください。



CD-ROM 装置のレンズが汚れている
汚れを市販のレンズクリーナーで取り除いてください。



CDをセットしても自動的に起動しない



自動起動に対応していないCDを挿入している
自動起動に対応していないCDは自動起動できません。CDの説明書などで確認してください。
対応していないときは、次の手順で起動することができます。
デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックする
CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックする

 正しく動作する CD もあるが、動作しない CD もある

 使用環境の設定が必要な CD を使用している

各 CD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。各 CD に付属の説明書を読んで、それぞれの CD に合った環境を設定してください。

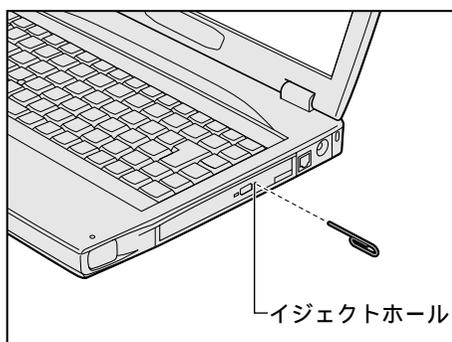
CD-R、CD-RW は、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

 CD が取り出せない

 パソコン本体の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM 装置のイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。



ハードディスク装置について

 セカンドハードディスク装置（別売り）が使えない

 大容量ハードディスクの設定がされていない

初めて使用するハードディスク装置を接続した場合は、次の設定が必要です。

- ・パーティションの設定
- ・ドライブのフォーマット

☞ 「4章 6-2 セカンドハードディスク装置」

● PC カードについて



PC カードの挿入が認識されない



PC カードを奥までしっかり差し込む
イジェクトボタンが出てくるまで奥まで差し込んでください。
☞ PC カードの取り付け ☞ 「4 章 7 PC カード」



PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない



PC カードのコントローラーモードが正しく設定されていない
次の手順で設定を変更してください。

98 95

[コントロールパネル] を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
[PC Card] タブで [PC Card Controller Mode] を変更する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする

2000 NT

[コントロールパネル] を開き、[HW セットアップ] をダブルクリックする
[PC カード] タブで [PC カードコントローラ] を変更する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする



MS-DOS 上で使用しようとしている

本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQ が不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

98 95

[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
[デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスを使用不可にする
[OK] または [閉じる] ボタンをクリックする

2000

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
 [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする
 [デバイスマネージャ]で使用しないデバイスの[+]をクリックする
 表示される装置から使用しないデバイスを右クリックし、[無効]をクリックする
 確認のメッセージで[はい]をクリックする
 [デバイスマネージャ]を終了する
 [システムのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

NT

[コントロールパネル]を開き、[デバイス]をダブルクリックする
 使用しないデバイスを選択し、[ハードウェアプロファイル]ボタンをクリックする
 [無効]ボタンをクリックする
 [OK]ボタンをクリックする
 [閉じる]ボタンをクリックする



PCカードが正常に動作しない(**98** **95**)



PCカードの省電力機能が設定されている
 次の手順で設定を変更してください。

98

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
 [電源設定]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする
 [省電力]タブで[PCカード]をクリックして表示されるメニューから[オン]を選択する
 選択されたメニューには がつきます。
 [適用]ボタンをクリックする
 [OK]ボタンをクリックする

95

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
 [省電力モード]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする
 [その他]タブで[PCカード(モデム/シリアル)]を使用しないときはオフにする]のチェックをはずす
 [適用]ボタンをクリックする
 [OK]ボタンをクリックする



CardBus カードが認識されない ( )



CardBus カードを使用できるように設定されていない ()

「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」に対応していない
CardBus カードを使用している ()

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[HW セットアップ]をダブルクリックする
[PC カード] タブで [PC カードコントローラ] を [カードバス / 16bit]
に変更する

● LAN 機能が使えない



ネットワークに接続できない



ネットワークの設定が正しくない

次の点をネットワーク管理者に確認してください。

- ・ Windows のネットワーク設定を確認する
- ・ 相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定を確認する
- ・ ケーブルの状態を確認する



LAN 機能が無効に設定されている (  )

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
[デバイスマネージャ] タブで [ネットワークアダプタ] の左の をクリッ
クする

が に変わり、項目が表示されます。

表示された項目の中から、LAN 機能に該当する項目をクリックする
本製品の場合は、「Toshiba Fast Ether LAN Adapter」が LAN 機能に関
する項目です。

[プロパティ] ボタンをクリックする

次のように設定する

 : [全般] タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする]
のチェック () をはずす

 : [情報] タブで [このハードウェア環境で使用不可にする] のチェッ
ク () をはずす

[OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ] 画面に戻ります。

[閉じる] ボタンをクリックする

2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
 [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックする
 [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする
 [デバイスマネージャ]が表示されます。
 [デバイスマネージャ]で[ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリックする
 [+]が[-]に変わり、項目が表示されます。
 表示された項目の中から、LAN機能に該当する項目を右クリックし、表示されるメニューの[有効]をクリックする
 本製品の場合は、「Intel 8255X-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」がLAN機能に関する項目です。
 有効になると、アイコンの上の×印の表示が消えます。
 [デバイスマネージャ]を終了する
 [システムのプロパティ]画面に戻ります。
 [閉じる]ボタンをクリックする



ServicePack6 のセットアップを行う ()

☞ 「4章 9-5 Windows NTのネットワーク設定について」

● USB 機器について



USB 機器が使えない

* WindowsNT4.0 は USB をサポートしておりません。



USB 機器がシステムに対応していない

USB 機器によっては、使用できるシステム (OS) が限られている場合があります。

☞ 『USB 機器に付属の説明書』



正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、次のアイコンをダブルクリックする

: [ハードウェアの追加]

: [ハードウェア]

: [ハードウェアの追加と削除]

[次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する



ハイパネーションから復帰後、正常に動作しない (**98** **2000**)



ハイパネーションに対応していない USB 機器を接続している
USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。

● 赤外線通信について



赤外線通信ができない



赤外線通信ができる環境になっていない

次のことを確認してください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 赤外線ポート間の障害物を取り除く
- ・ 赤外線ポート間の汚れをおとす
- ・ 赤外線ポートの設定を正しく設定する



赤外線通信ソフトが使えない



使用する赤外線ソフトが正しく設定されていない

複数の赤外線ソフトは同時に使用できません。使用する赤外線ソフトを選択し、その他のソフトを使用不可に設定してください。

「東芝 IrEther」をインストールしていない場合

- ・ 「Intellisync」を使用する

98

1. [コントロールパネル]を開き、[赤外線モニタ]をダブルクリックする
2. [オプション]タブで[赤外線通信を使用可能にする]のチェックをはずす

95

1. [コントロールパネル]を開き、[赤外線モニター]をダブルクリックする
2. [オプション]タブで[次のポートで赤外線通信を使用可能にする]のチェックをはずす

- ・ 「マイクロソフト赤外線通信ソフト」を使用する

「Intellisync」を起動している場合は終了させてください。

98

1. [コントロールパネル]を開き、[赤外線モニタ]をダブルクリックする
2. [オプション]タブで[赤外線通信を使用可能にする]をチェックする

95

1. [コントロールパネル]を開き、[赤外線モニター]をダブルクリックする
2. [オプション]タブで[次のポートで赤外線通信を使用可能にする]をチェックする

- 「東芝 IrEther」をインストールしている場合
- ・「東芝 IrEther」を使用する
 - 98** **2000**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
 3. [東芝 IrEther 環境] をチェックする
 - 95** **NT**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [東芝 IrEther 環境] をチェックする
 - ・「Intellisync」を使用する
 - 98**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
 3. [その他の赤外線環境] をチェックする
 4. [コントロールパネル] で、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
 5. [オプション] タブを開き、[赤外線通信を使用可能にする] のチェックをはずす
 - 95**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす
 3. [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
 4. [オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を可能にする] のチェックをはずす
 - NT**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす
 - ・「マイクロソフト赤外線通信ソフト」を使用する
 - 98**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
 3. [MS 赤外線環境] をチェックする
 4. [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
 5. [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする
 - 95**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [東芝 IrEther 環境] のチェックをはずす
 3. [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニター] をダブルクリックする
 4. [オプション] タブで [次のポートで赤外線通信を使用可能にする] をチェックする
 - 2000**
 1. タスクバーの [東芝 IR スイッチ] アイコンをクリックしてメニューを開く
 2. [赤外線デバイスを有効にする] をチェックする
 3. [MS 赤外線環境] をチェックする



赤外線通信はできるが、データが正しく送られない



正しく通信できる環境になっていない

次のことを行なってみてください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 通信先との距離を変えてみる
- ・ 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
- ・ 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体にあるボリュームダイヤルで音量を調節する



システムビープ音が鳴らない



システムスピーカが無効になっている
次の手順で設定を変更してください。

98 95

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Hardware Alarm]タブで[System Beep]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

2000

[コントロールパネル]を開き、[HW セットアップ]をダブルクリックする

[サウンド]タブで[システムビープを鳴らす]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

NT

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする

[省電力モード]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする

[その他]タブで[システムビープを鳴らす]にチェックをつける

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする



音量の設定が「ミュート」になっている

次の手順で設定を変更してください。

- タスクバーの [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコンをクリックする
- [ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
- つまみを上下にドラッグして調整する
- つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



標準のデバイスドライバが組み込まれていない ()

サウンドドライバを「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から再インストールしてください。



サウンドドライバがインストールされていない ()

サウンドドライバをインストールしてください。

詳しくは、アプリケーションCDをセットして表示される画面をご覧ください。



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

- [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント] () または [マルチメディア] ()-[サウンドレコーダー] をクリックする
- [ファイル]-[プロパティ] をクリックする
- [詳細] タブで [形式の変換] の [今すぐ変換] ボタン () または [変換] ボタン () をクリックする
- Windows 98 / 95 の場合、[サウンド名] 欄は、標準で「ラジオの音質」が設定されています。
- [属性] 欄を選択する
- CDの音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選んでみてください。ただし高音質にすると、データ量が增大し、結果として録音できる時間は短くなります。例えばマイクロフォンを使用して録音する場合は属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を押さえてください。
- 属性が決まったら、[名前を付けて保存] ボタン () または [登録] ボタン () ボタンをクリックし、[新しいファイル名] 欄に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 開いている画面を [OK] ボタンをクリックして閉じる
- サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



- ・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、サウンドの選択は Windows 98 / 95 の場合は [ラジオの音質]、Windows 2000 / NT の場合は以前の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。



マイクロホンで録音したが音量が小さい



コンピュータ内蔵のマイクロホンを使って録音した際に、録音ボリュームを最大まで上げてても十分な音量で録音ができない場合は、次の設定を確認してください。

「ヤマハ DS-XG オーディオミキサ」を起動する

タスクバーの [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコンをダブルクリックしてください。

[オプション]-[オプション] をクリックする

[音量の調整] で [再生] をクリックし、[表示するコントロール] で [マイクrophon] () または [Microphone] () にチェック () し、[OK] をクリックする

[マイクrophon] () または [Microphone] ()

に表示される [MIC+20dB] にチェック () する

「サウンドレコーダー」を起動する

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント] ()

または [マルチメディア] () - [サウンドレコーダー] をクリックしてください。

[ヤマハ DS-XG オーディオミキサ] 画面で、[表示選択] をクリックし、

[録音] をチェック () する

[ヤマハ DS-XG オーディオミキサ] 画面の [オプション]-[オプション] をクリックする

[音量の調整] で [録音] をクリックし、[表示するコントロール] で [マイクrophon] () または [Microphone] () にチェック () をつけ、[OK] をクリックする

[マイクrophon] () または [Microphone] ()

の [選択] にチェック () がついていることを確認し、音量ボリュームを中央より上の位置に移動させる

● おかしな音が聞こえる



本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの作業をしています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるときや、このような状態が頻繁に発生するときは、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

甲高い音がする

 外部マイクとスピーカとでハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。
次の操作を行なってください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する
- ・使用しているソフトウェアの設定を変える
- ・Windows 上から音量の設定を調整する

調子がおかしい！

テレビ・ラジオに障害が出る

 テレビ、ラジオの調子がおかしい

 何らかの原因がある

次の操作を行なってください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

ハイバネーション機能が使えない

 ハイバネーション機能が使えない (  )

 ドライブCが圧縮されている
圧縮を解凍してください。

 ハイバネーション機能に対応していない周辺機器 (PC カードなど) を取り付けている
ハイバネーション機能に対応していない周辺機器を取りはずしてください。
⇨ 周辺機器の取りはずし ⇨ 「4章 ハードウェアについて」



スタンバイ状態またはサスペンド状態になってしまう (  )



ハイバネーションの設定になっているか確認する

確認 1- 電源のプロパティでの設定の確認

[コントロールパネル] を開き、[電源の管理] () または [電源オプション] () をダブルクリックする

[休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェック () する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

確認 2- 省電力ユーティリティでの設定の確認

[コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする

[電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

[動作] タブのそれぞれのメニューで [ハイバネーション] () または

[休止状態] () を選択する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



[コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする

[省電力モード] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする

[システム] タブで [ハイバネーションを有効にする] をチェック () する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



スタートアップにハイバネーション機能の妨げになるアプリケーションソフトが登録されている

スタートアップからアプリケーションソフトの登録をはずし、Windows を再起動してください。



ハイバネーション用のファイルが壊れている ( )

次の操作を行なってください。

[スタート] メニューから [Windows の終了] - [MS-DOS モードで再起動する] を選択する

HALLOC /C と入力する

EXIT と入力する

● パソコンの動作がおかしい

 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Main Battery  LED および Second Battery  LED がオレンジ色に点滅する

 バッテリーパックの充電機能が低下している
別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる

 CPU の温度が上がった
CPU は高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPU の温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

 内蔵時計が合っていない

 [日付と時刻] 画面で修正する
次の手順で行なってください。
[コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする
[時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする
「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。
デジタル時計右端の上下のボタンで、時刻の修正を行う
[適用] または [更新] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする

 時計用バッテリーが充電されていない
パソコン本体に電源を入れてしばらく時計用バッテリーを充電してください。

 時計用バッテリーの充電機能が低下している
お近くの保守サービスにご連絡ください。

 充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンの Main Battery  LED および Second Battery  LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

 長時間バッテリーパックを使用していなかった
長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電してください。
それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。この場合、レジューム機能は無効になります。

98 **95**

[Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押す

[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。

[シャットダウン] ボタンをクリックする

プログラムを強制終了し、電源が切れます。

パソコンの電源を入れる

2000 **NT**

[Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押す

[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。

[シャットダウン] ボタンをクリックする

[シャットダウン] ([**2000**) または [シャットダウン後、電源を切る] ([**NT**))

を選択し、[OK] ボタンをクリックする

プログラムを強制終了し、電源が切れます。

パソコンの電源を入れる

● 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。



「Password = 」と表示される



パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

☞ パスワード、キーフロッピーディスク ⇨ 「6章 2 パスワードセキュリティ」

 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

 Caps Lock の状態でパスワードを入力した
 [Shift] + [Caps Lock] キーを押して Caps Lock の状態を解除し、再度入力してください。

 「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された

 ハイバネーション機能が無効になった
 電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

 「Please remove the incompatible memory module in Slot A (or B)」と表示された

 本製品での動作が確認されていないメモリがスロット A または B に実装されているため、システムが停止しました。電源を切った後、本製品で動作が確認されている PC100 対応のメモリにお取り替えください。

 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」というメッセージが表示された

 ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった
 画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

 次のようなメッセージが表示された

- ・ 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- ・ 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- ・ 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- ・ 「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- ・ 「This BASIC was aborted. Because this machine has no ROM BASIC. Use Toshiba's BASIC」
- ・ 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- ・ 「Cannot load DOS press key to retry」
- ・ 「 _ 」と表示されたままカーソルが停止している

 システムディスクをセットし、何かキーを押す

 フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

 「Boot sequence is changed.」と表示された

 システム起動の順番が変更された
しばらくお待ちください。

 「C:¥WINDOWS>_」や「C:¥」と表示される

 MS-DOS プロンプトが全画面表示されている
MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

 **98**  **95**

C:WINDOWS>EXIT と入力する

 キーを押す

 **2000**  **NT**

 +  キーで通常のウィンドウ表示と切り替える

 「KBC ERROR」と表示された

 PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている
この場合は、電源を 1 度切り、取りはずしてから再度起動させてください。
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 上記以外のメッセージが表示される

 ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

● 異常や故障の場合



異常な臭いや過熱に気づいた！



電源を切り、電源コードを抜く

お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）



操作できない原因がどうしてもわからない



東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態

● 東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

付録

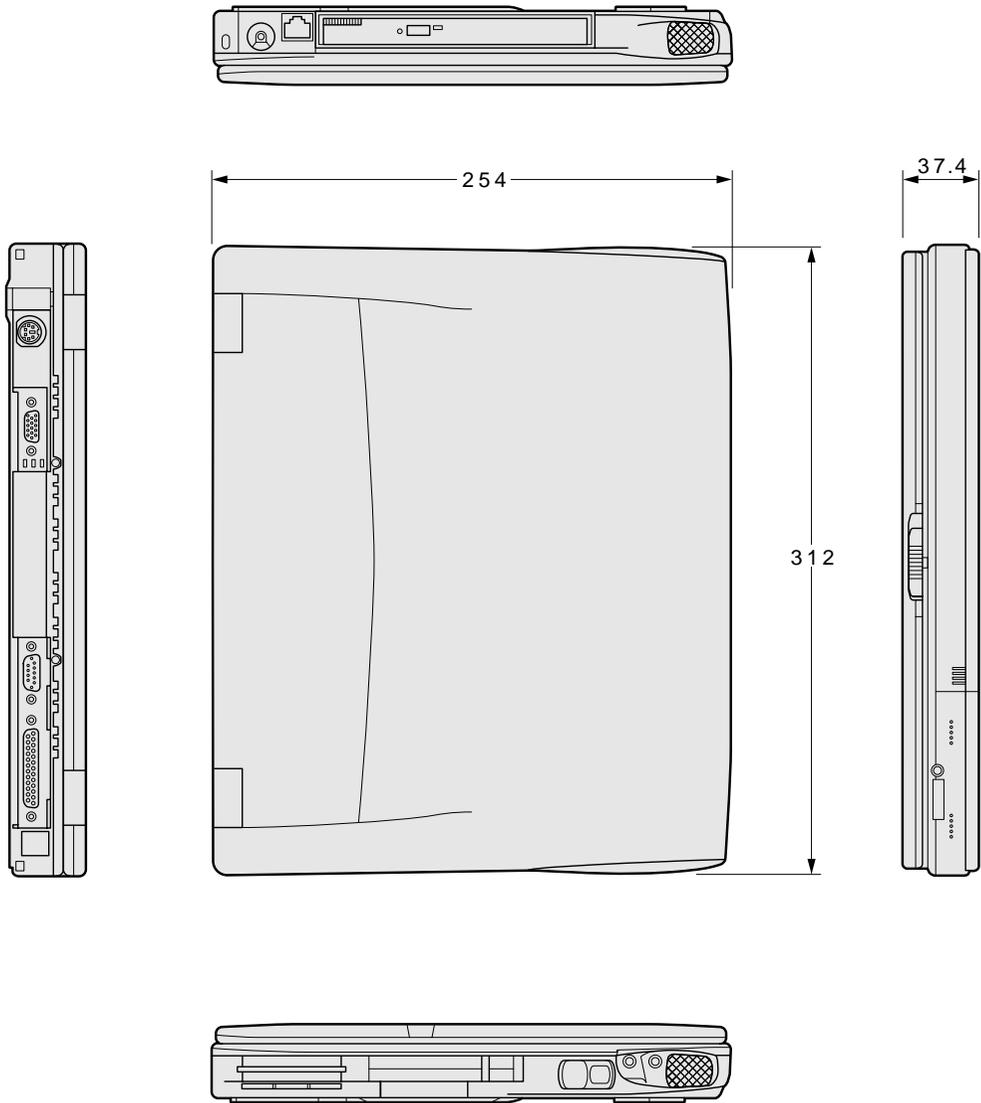
本製品の仕様について説明しています。

1	製品仕様	254
2	各インタフェースの仕様	260



1 製品仕様

1 外形寸法図



(単位 mm)

② サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

本製品でサポートしている英語モード時の全てのビデオモードを次に示します。

モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。

アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
0,1	VGAテキスト	40×25字	8×8	16/256K		70
2,3	VGAテキスト	80×25字	8×8	16/256K		70
0*,1*	VGAテキスト	40×25字	8×14	16/256K		70
2*,3*	VGAテキスト	80×25字	8×14	16/256K		70
0+,1+	VGAテキスト	40×25字	8(9)×16	16/256K		70
2+,3+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	16/256K		70
4,5	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	4/256K		70
6	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	2/256K		70
7	VGAテキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ		70
7+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	モノクロ		70
D	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	16/256K		70
E	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	16/256K		70
F	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	モノクロ		70
10	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	16/256K		70
11	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	2/256K		60

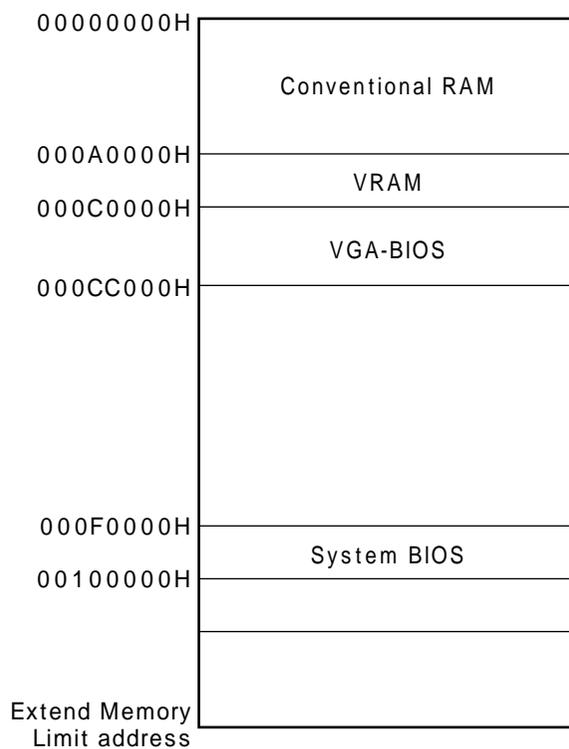
ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
12	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	16/256K		60
13	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	256/256K		70
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	256/256K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	256/256K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	256/256K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	—	256/256 K*1	256/256 K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット	—	256/256 K*1	256/256 K	60/75
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	64K/64K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	64K/64K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	64K/64K	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	—	64K/64K *1	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット	—	64K/64K *1	64K/64K	60/75
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	16M/16M		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	16M/16M		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	16M/16M	16M/16M	60/75
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	—	16M/16M *1	16M/16M	60

* 1：実際の画面（1024×768）内に、仮想スクリーン表示します。

本製品のディスプレイは、640×480ドットのモードを選択しても、1024×768ドットのタイミングで動作しています。そのため、VGA専用のCRTディスプレイとの同時表示はできません。同時表示をする場合は、SVGAのCRTディスプレイを使用してください。

3 メモリマップ

本製品では、メモリを次のように使用しています。



5 DMA 使用リソース

DMA		PIT
0	サウンド*	1
1	プリンタポート (ECP)、サウンド*	
2	FDC	
3	プリンタポート (ECP)	
4	Cascade for CTLR1	2
5	なし	
6	なし	
7	なし	

* サウンドドライバにより設定されます。

6 IRQ 使用リソース

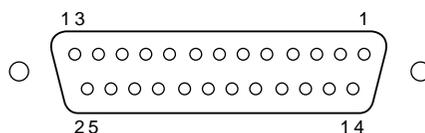
IRQ		PIT
0	タイマ (PIT)	#1
1	キーボード (KBC)	
2	IRQ8 ~ 15 PIT #2入力	
3		
4	COM1 ~ COM4、PCカード	
5	PCカード、COM1 ~ COM4、プリンタポート#2	
6	FDC	
7	プリンタポート#1、PCカード、COM1 ~ COM4	
8	RTC	#2
9	ACPI	
10	PCカード、COM1 ~ COM4	
11	PCカード、COM1 ~ COM4、サウンド*	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM	

② 各インタフェースの仕様

① PRT インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-STROBE	PD0～7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2	PD0	PD0のデータを送信する信号	I/O
3	PD1	PD1のデータを送信する信号	I/O
4	PD2	PD2のデータを送信する信号	I/O
5	PD3	PD3のデータを送信する信号	I/O
6	PD4	PD4のデータを送信する信号	I/O
7	PD5	PD5のデータを送信する信号	I/O
8	PD6	PD6のデータを送信する信号	I/O
9	PD7	PD7のデータを送信する信号	I/O
10	-ACK	-STROBEに対するデータ受信完了信号	I
11	BUSY	データ受信できるかどうかを示すステータス信号	I
12	PE	用紙切れを知らせるステータス信号	I
13	SELCT	セレクト/ディセレクト状態を示すステータス信号	I
14	-AUTFD	自動用紙送り機構用信号	O
15	-ERROR	アラーム状態を示すステータス信号	I
16	-PINT	初期状態に戻す信号	O
17	-SLIN	未使用	O
18	GND	信号グランド	
19	GND	信号グランド	
20	GND	信号グランド	
21	GND	信号グランド	
22	GND	信号グランド	
23	GND	信号グランド	
24	GND	信号グランド	
25	GND	信号グランド	

コネクタ図



D-SUB 25ピンメス

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

② COMMS インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

コネクタ図

D-SUB 9ピンオス

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

③ PS/2 インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	MOUSDT	マウスデータ	I/O
2	EXTKBTD	キーボードデータ	I/O
3	GND	グランド	
4	VCC	5V	
5	MOUSCK	マウスクロック	I/O
6	EXTKBCK	キーボードクロック	I/O

コネクタ図

ミニDIN 6ピンメス

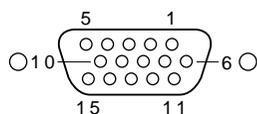
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

4 RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号	O
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図



高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

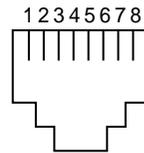
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

5 LAN インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



信号名 : - が付いているのは、負論理の信号です。

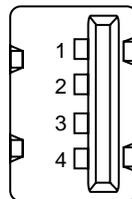
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

6 USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+ 5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図



信号名 : - が付いているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力



さくいん

A	F
ACアダプタ 21	FDD アタッチメントケース 22
ACアダプタの仕様 17	FDD アタッチメントケースの取り付け .. 107
ACアダプタの取り扱い 27	FDD アタッチメントケースの取りはずし .. 108
Alarm Volume 191	FLOPPY DISK I/O 193
Alt キー 32, 33	Fn キー 32
Application CD-ROM 206	Fn キーを使った特殊機能キー 36
Arrow Mode LED 20	
Auto Power On 190	
	H
B	Hard Disk Mode 187
BackSpace キー 33	HDDPriority 187
BATTERY 184	Home キー 33
Battery Save Mode 184	HW セットアップ 177
BOOT PRIORITY 187	
Boot Priority 187	
	I
C	I/O PORTS 192
Caps Lock LED 20	Ins キー 33
CapsLock 英数キー 32	
CD-ROM 装置 20	
CD-ROM 装置の取り扱い 16	L
CD のセット 115	LAN ケーブルの接続 141
CD の取り扱い 15	LAN コネクタ 20, 23, 141
CD の取り出し 116	LCD Display Stretch 188
COMMS コネクタ 23, 106	Level 2 Cache 189
CONFIGURATION 192	
CPU Cache 189	M
CRT ディスプレイの取り付け 155	Main Battery LED 20, 30
CRT ディスプレイの取りはずし 155	MEMORY 184
Ctrl キー 32, 33	MS-IME 39
D	N
DC IN LED 20, 28	Not Registered 184
Del キー 33	Numeric Mode LED 20
Device Config 192	
Disk LED 20	
DISPLAY 188	O
DRIVES I/O 193	OTHERS 189
Dynamic CPU Frequency Mode 190	
	P
E	Panel Power On/Off 192
End キー 33	Parallel 192
Enter キー 33	Parallel Port Mode 187
Esc キー 32	PASSWORD 184
Ext Keyboard "Fn" 186	Pause キー 33
	PC CARD 193
	PCI BUS 193
	PC カードスロット 0 23
	PC カードスロット 1 23

PCカードの取り付け	132
PCカードの取りはずし	134
PCカードロック	132
PCカードをロックする	136
PERIPHERAL	186
PgDnキー	33
PgUpキー	33
Pointing Devices	186
Power LED	20, 28
Power On Boot Select	188
Power On Display	188
Power-up Mode	189
Processor Serial Number	190
Product Recovery CD-ROM (Windows 2000 / NT)	206
Product Recovery CD-ROM (Windows 98 / 95)	206
PRT コネクタ	23, 154
PS/2 コネクタ	23, 105

R

Registered	184
RGB コネクタ	23

S

Secondary Battery LED	20, 30
Selectable Bay LED	20
Serial	192
Shift キー	32, 33
System Beep	192

T

Tab キー	32
Toshiba Hardware Setup	177
Total	184
TV Config	189

U

USB Legacy Emulation	186
USB 機器の取り付け	151
USB 機器の取りはずし	151
USB コネクタ	23, 151

W

Windows セットアップ	46
Win キー	32
Win キーを使ったショートカットキー	38

ア

アキュポイント	20, 31
アキュポイントの取り扱い	17
アキュポイント予備キャップ	21
アプリケーション & ドライバ CD-ROM	206
アプリケーション CD	206
アプリケーションキー	33

ウ

ウェイトセバ	22
--------	----

エ

液晶ディスプレイの取り扱い	16
---------------	----

オ

オーバーレイキー	33
主なキーの呼び方と役割	35
オンラインマニュアル	87

カ

書き込み可能状態	109
書き込み禁止状態	109
カスタム・リカバリ CD	206
画面の手入れ	16
漢字キー	32
漢字変換	39

キ

キーシフトインジケータ	20
Arrow Mode LED	20
Caps Lock LED	20
Numeric Mode LED	20
キーフロッピーディスク	196
キーボード	20
キーボードの取り扱い	16

ク

クリック	31
------	----

ケ

ケーブルの接続	98
---------	----

コ

コントロールボタン	21, 31
-----------	--------

サ

サイドライト用FL管	16
サウンド機能	40
サスペンド機能	74

シ

システムインジケータ	20
DC IN LED	20
Disk LED	20
Main Battery LED	20
Power LED	20
Secondary Battery LED	20
Selectable Bay LED	20
システムスピーカ	42
シャットダウン機能	74
使用できるCD	114
使用できるPCカード	131
使用できるフロッピーディスク	109
省電力ユーティリティ (Windows 2000)..	169
省電力ユーティリティ (Windows 95)..	164
省電力ユーティリティ (Windows 98)..	160
省電力ユーティリティ (Windows NT)...	173
照明	26
消耗品	18

ス

スーパーバイザパスワード	194
スーパーバイザパスワードの削除	200
スーパーバイザパスワードの登録	198
スーパーバイザパスワードの変更	201
スクロール	31
スクロールボタン	21, 31
スタンバイ機能	74
スピーカ	21
スピーカの音量	40
スペースキー	32

セ

セカンドハードディスク装置	120
赤外線ポート	21
セキュリティロック・スロット	20
セットアップ (Windows 2000)	57
セットアップ (Windows 95)	52
セットアップ (Windows 98)	46
セットアップ (Windows NT)	65
セットアッププログラム	180
セレクトابلベイ	24, 99
セレクトابلベिकाパー	22

セレクトابلベイ機器の差し替え	99
全候補キー	33

ソ

増設メモリスロット	24
増設メモリの取り付け	138
増設メモリの取りはずし	139
外付けキーボードの取り付け	158
外付けキーボードの取りはずし	158
外付けフロッピーディスク装置の取り付け ..	108
外付けフロッピーディスク装置の取りはずし ..	109

タ

ダブルクリック	31
---------------	----

テ

ディスプレイ	20
ディスプレイ開閉ラッチ	20
電源コード	21
電源コードの取り扱い	16, 27
電源コネクタ	21
電源スイッチ	21
電源スイッチロック	21
電源の接続方法	27
電源を入れる	44
電源を切る	74

ト

東芝セレクトابلベイスーパービス for Windows NT 4.0	104
東芝セレクトابلベイ・ユーティリティ (Windows 98 / 95)	101
特殊機能キー	38
時計用バッテリー	93
ドラッグアンドドロップ	31

ナ

内蔵マイク	20
-------------	----

ニ

日本語入力システム	39
日本語入力システムの起動	39
入力に関する制御キー	35
入力モード	39

ネ

ネットワークの設定 (Windows 2000) ..	145
ネットワークの設定 (Windows 98 / 95) ..	142
ネットワークの設定 (Windows NT)	147

ハ

ハードディスク装置の設定 (Windows 2000).....	125
ハードディスク装置の設定 (Windows 98/95).....	121
ハードディスク装置の設定 (Windows NT).....	127
ハイパネーション機能.....	74
ハイパネーション用のファイル.....	140
パスワードセキュリティ.....	194
パスワードとして使用できる文字.....	195
パスワードの入力.....	203
パソコン使用時の環境.....	25
パソコン使用時の姿勢.....	26
パソコンの使用方法.....	26
パソコンの設置環境.....	25
パソコン本体の取り扱い.....	14
バッテリー駆動.....	90
バッテリー充電量の確認.....	90
バッテリー充電量の減少.....	92
バッテリーの使用時間.....	92
バッテリーの節約.....	96
パネルスイッチ機能 (Windows 2000)...	84
パネルスイッチ機能 (Windows 95).....	81
パネルスイッチ機能 (Windows 98).....	78
パネルスイッチ機能 (Windows NT).....	86

ヒ

ビデオ変換ケーブル.....	21
ビデオ出力ケーブルの取り付け.....	152
ビデオ出力ケーブルの取りはずし.....	152
ビデオ出力端子.....	23, 152
表示不良画素.....	16
表示方法の切り替え (CRT ディスプレイ)..	156
表示方法の切り替え (テレビ).....	152

フ

ファンクションキー.....	32
ファン排気口.....	21
プリンタドライバのインストール.....	154
プリンタポートモード.....	154
フロッピーディスク装置.....	22
フロッピーディスク装置接続コネクタ.....	23
フロッピーディスク装置の取り扱い.....	15
フロッピーディスクのセット.....	110
フロッピーディスクの取り扱い.....	14
フロッピーディスクの取り出し.....	110
フロッピーディスクのフォーマット.....	111

ヘ

ヘッドホン出力端子.....	24
----------------	----

ホ

ホットインサージョン.....	131
ボリュームダイヤル.....	20

マ

マイク入力端子.....	24
--------------	----

メ

メインハードディスク装置.....	24
メインハードディスク装置の 取りはずし/取り付け.....	118
メインバッテリーパック.....	24
メインバッテリーパックの 取りはずし/取り付け.....	93

モ

文字キー.....	34
持ち運ぶとき.....	17

ヤ

矢印キー.....	33
-----------	----

ユ

ユーザ登録.....	73
ユーザパスワード.....	194
ユーザパスワードからの起動による 制限事項の設定と解除.....	201
ユーザパスワードの削除.....	197
ユーザパスワードの登録.....	195
ユーザパスワードの変更.....	198
ユーザパスワードを忘れてしまった場合.....	197

ラ

ライトプロテクトタブ.....	109
-----------------	-----

リ

リカバリ CD.....	206
リセットスイッチ.....	20

ロ

ローマ字キー.....	33
-------------	----

